

準備編

| |
|---|
| <p>・事務手続き</p> <p>①Application for clinical electives 写真→顔写真 (jpeg) を張り付けました 名前→ローマ字/漢字 サイン→全て打ち込んで完成してからプリントアウトして、Signature のところにサインと accommodation のところにチェックして、スキャナ。</p> <p>②Letter for agreement and recommendation Signature→和佐先生のサイン School→Osaka University Medical School Name→Masafumi Wasa, MD, PhD Title→Professor, Medical Education Center Address→2-2 Yamadaoka, Suita, Osaka, 565-0871, Japan Fax→+81-6-6210-8225 SCHOOL SEAL→教務に渡して大学の印を押してもらいました。</p> |
| <p>・手続き 2</p> <p>①Confirmation of Clinical Electives 一か月前までに、科と、実習期間と、寮宿泊期間と、初日の日付を申告します。</p> <p>②Confirmation of Accommodation 私は①を提出し忘れていて、②を提出するようにと改めて送られてきました。①の寮の部分の抜き出したもので、値段などが書いてあります。これで寮の宿泊期間を申告しました。ただしこの宿泊期間は実際に行ってみれば非常に融通が利きます。後述します。</p> |
| <p>・現地にいる学生とのコンタクト</p> <p>可能ならば、事前に誰かと Facebook 等で繋がると良いです。私はすでに1月に行っていた友達経由で、ルームメイト(東大からの短期留学生)、旧正月のホームステイ先の子と連絡がついていました。そのため、ホームステイ先の子に空港から pickup してもらうことができました。</p> |
| <p>・Contact person</p> <p>台湾への留学生には、現地の学生のボランティアである Contact person がつけてもらえる場合があります。担当の留学生の観光をサポートしてくれる人です。ただし、私はそんな話は一切出ませんでしたし、他の留学生に聞いてみても、つけてもらえる可能性はランダムのような感じです…。事務手続きの際につけてもらえるか聞いてみてもいいかもしれません。</p> |
| <p>・実習の持ち物</p> |

服装は後述しますがロングコート型白衣を持参すれば大丈夫です。実習用靴は特に必要ありません。聴診器は使わなかったですが、念のため準備して行きました。携帯やタブレットをどこにでも持ち込めますので、教科書のデータを入れていくか、ネットを活用すれば紙の教科書は要らないです。PCは今回の産婦人科の実習では全く使わなかったです。とはいえ word や power point などは一応タブレットに入れて行きました。

・実習の予習

産婦人科に関する英単語は勉強していきましょう。疾患名、症候は最低限必要かと思えます。それから、略語が結構わからなかったです。実習初日に略語リストがもらえたので、それを活用すると良いかも。また、外来見学をするときに妊婦健診などのエコーをさせてもらえるかもしれませんので、エコーで何を測定するかなどを軽く予習していくと有意義な実習になると思います。

台湾に着いたら

・両替

台湾の空港で替えるのが一番レートは良いみたいです。街中でも替えることができます。寮費は現金払いなので、たくさん替える必要があります。

・SIM

空港のブースには三社ありますが中華電信が一番電波がよく、山の上でも繋がるということなのでこれにしましたが、使った実感としてどれが良いということはないです。少なくとも中華電信は、タブレットとの相性が悪かったのか、接続しななおさなくてはならないことがちょくちょくありました。値段は三社ともあまり変わらず、中華電信は 30 日ネット使い放題+通話少して 1000NTD でした。SIM フリー端末を渡せば設定はお店の人がやってくれます。身分証明にパスポートを見せます。

・空港から台北まで

台北駅行きのリムジンバスがあります。バス会社はいくつかあるようですが、一番無難なのは大手の國光客運で、45 分ほどで 120 元。英語や日本語はあまり通じませんがジェスチャーなどでなんとかなります。

寮編

Taita-Jing-Fu Alumni Hall (=景福、チンフー)

800 元(=3000 円くらい)/day

・入寮

管理人兼掃除のおばちゃんが常駐しているので彼女に名前を言って名簿にサインすれば鍵をくれます。彼女には英語は通じませんが、いつもにこにこ挨拶してくれる良い人です。

・支払い

現金払いしかできません。正直ちょっと高いです。でも、ロケーションは台北市駅近で病院敷地内なので…。上記のおばちゃんではなく、責任者のおばちゃん(英語が通じます)に払うので、平日の昼、その人がいるときに狙って払います。タイミングはいつでもオーケー。

ちなみに旅行に行ったりして 3,4 日部屋を開けるときは事前に言っておきチェックアウトして荷物を地下室に置いておくことで寮費をうかせることができますので、実習終盤になって寮費が確定してから払うと良いかもしれません。

・寮の設備

ビジネスホテルのツインルームのような部屋で、二人部屋。ユニットバス、冷蔵庫、湯沸かし器、テレビがあります。廊下に電子レンジやお湯のサーバーもあります。ネットは有線です。1日に一回ゴミ箱の掃除とタオルの交換があります。月に一回床の消毒があり、その間は部屋に入れません。洗濯は地下一階のコインランドリーにて、一回 40 元ほどで可能です。

生活

・公共交通

台北市内は MRT が便利。まずは easy card(悠遊卡、台湾版 ICOCA)を MRT の券売機で買しましょう。100NTD(デポジット)で買えます。公共交通機関はとても安いです。学生版 easy card を買えたらもっと安くなるのですが、台湾の学校の学生証をつかって申請しないと買えません(国際学生証でも買えません)。Easy card があれば路線バスや国鉄、ローカル線もタッチするだけで使えます。また、SIM を買ったひとならその現地電話番号を利用して、Easy card の自転車利用登録をすることができます。登録すれば、街中の You-bike (オレンジ色の自転車) が 30 分無料で使えるようになります。30 分を超えると自動で Easy card から落ちていくので合理的。また Easy card はコンビニなどでも使えます。そのほかの交通機関は、困った時のタクシー、それほど高くないです。それから南部に行くときは新幹線も日本よりは安いです。

・食事

朝ごはんはサンドイッチなどの軽いものと豆乳の組み合わせが一般的です。昼ごはんは病院内にフードコートがありますし、外で食べることもできます。夜は夜市やレストランで食べます。基本的に物価が安いので、軽食なら 30-50NTD、店なら 100-200NTD で食べられます。小籠包などお高めのお店に入っても、400-500NTD で食べれるのが素晴らしいです。ガイドブックを持参して、現地の子にも聞きまわって、台湾グルメを制覇することをおすすめします。

実習

・初日

9 時に、医学部 3 階の教務へ行きます。棟がいくつかあってややこしいので、事前に下調べしておくといいです。寮からは、まず旧棟へ入ってその地下通路から新棟へ行き、新棟の 3 階から医学部棟へ行くことができます。九時に事務の方に会えたら、写真二枚(一枚は書類用、一枚は名札用)を渡し、書類に名前や日付、学校名を書き、留学生名簿にサインします。その後子供病院棟にある産婦人科へ案内されます。産婦人科では学生担当の先生やお世話係の生徒さんと会って、実習日程の説明や病棟の説明をされたあと、病院内を案内さ

れます。

・実習内容

初日や週の初めなどに、学生担当の先生と話して決めます。六年生(ポリクリ中)に混じって講義を受けたり、外来見学や手術見学をします。七年生(インターン)と混じることもあります。分娩に呼んでもらえることもあります。基本的には全て、「if interested」と言われ、現地の学生と違ってノルマのようなものはあまりありませんが、とりあえず声をかけられたものは全て参加していました。

・実習場所…産婦人科は全て子供病院 寮から歩いて1分ほどの、オレンジ色の建物

18F カンファ室

15F 秘書室、カンファ室

14F 婦人科病棟

11F 産科病棟

9F 分娩室、学生ルーム、生殖補助医療室

6F 手術室

B1 大カンファ室(週3回13時から)

9Fの学生ルームは荷物を置いたり食事を取ったりできて、活動の拠点となります。鍵付きロッカーはありませんので注意。クルズスは9F学生ルーム、15Fカンファ室、18Fカンファ室で行われます。分娩は9F、手術は6Fですが、手術場の中にエレベーターがありますのでどちらも9Fで手術着に着替えます。生殖補助医療を見学するときは手術着に着替えてから9Fの清潔エリアに入ります。外来のみ、旧棟に移動する必要があります。

・服装

現地の学生は長袖白衣ショートコート(白のブレザーのようなものです)を私服の上に羽織っています。これは名前の刺繍入りで、学生実習が始まる際にセレモニーで配布されるとかなんとか。留学生はそれを持っていないので、ふつうの長袖白衣ロングコートを羽織っていて大丈夫です。これは現地では一人前の医師のみが着ています。ケイシーのような実習服を着ている人はいません。

中に着る私服は、女子はなんでもいいらしいですが、男子はシャツ着用らしいです。ズボン、ジーンズなどラフなものは避けたほうがいいらしいですが、現地の学生の中にはジーンズの人もたくさんいるので、気にしなくてもいいかも。スカートでも大丈夫です。靴は汚らしいものでなければなんでもよさそうです。全体的にあまり厳密ではないです。

ちなみに産婦人科実習では、クルズスなど私服でも問題のない実習と、オペ着に着替えなければならないオペ室内での実習が主になるので、私が白衣を羽織った回数は外来見学など数少ない機会だけでした…。